

平成 24 年 8 月 29 日

練習船豊潮丸と水産実験所が教育関係共同利用拠点に認定

広島大学生物生産学部附属練習船「豊潮丸」および生物圏科学研究科附属瀬戸内圏フィールド科学教育研究センターの「竹原ステーション(水産実験所)」が文部科学大臣から教育関係共同利用拠点として認定を受けました。

認定期間は、平成 24 年 7 月 31 日から平成 29 年 3 月 31 日までです。

この制度は、国公私立大学が保有する練習船、農場、演習林、留学生関連施設、FD・SD センターなどを対象に、文部科学大臣が他大学の教育にも利用可能な優れた教育施設として認定するものです。

質の高い教育を提供していくためには、他大学との連携を強化し、各大学の有する人的・物質資源の共同利用など有効活用が必要です。

本制度の活用により、練習船や農場、演習林などの施設を保有していない大学との共同利用を促進し、大学教育全体として、多様かつ高度な教育の展開が期待できます。

平成 21 年度から 23 年度までに、全国で 21 件が拠点認定され、広島大学でも農場がすでに認定を受けていますが、今回、新たに 2 件が教育拠点に認定されました。

【お問い合わせ先】

生物圏科学研究科
運営支援グループ 三上 政徳
TEL:082-424-7902・FAX:082-424-7916